

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2020年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和3年3月1日 ~ 令和3年3月31日		作成者	古畑 誠
作業名称	下り線 ひるがのSA簡易フェンス設置作業	作業手順書	作成年月日	令和3年3月17日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	4tユニック、2tトラック		改正年月日	
			現場責任者	
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	ハンマードリル、レンチ、スパナ、インパクトドライバー、石頭ハンマー、シャベル、スコップ、		協力会社	会社名 -
	ほうき、塵取り、水平機、ブルーシート、木材		協力会社責任者	自署サイン -
保護具	ヘルメット、手袋、防護メガネ、防護マスク		作業順序 1 現地確認 2 準備作業 3 スノーボール撤去 4 基礎設置 5 スノーボール設置 6 後片付け 7 8	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準) の区別を記す)	自動車運転免許証			
作業人員 (当該作業に関わる 割合と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 2人、保安員 1人			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長) _____ 周知会実施日 令和2年10月26日 <small>(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自署サインする)</small>			
合計		3名		

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△△、×△	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	△×、×△ ××	3:中程度 4:かなり大きい 5:極めて大きい	職長が確認 工事担当責任者が確認 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)							
現地確認(全員)																
	作業箇所確認	危険ポイントの確認														
	周辺安全確認	構造物の確認														
準備作業(全員)																
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認														
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認														
既存システムクレーン移動 (責任者、作業員)																
	4tユニックを使用しシステムクレーンを移動する。	重量物のため、運搬時注意、吊り荷の														
	コンクリート基礎撤去	重量物のため、運搬時注意	運搬時に基礎を足元に落とす。	△	△	△△	3		無理な体勢で運ばない。台車を使う。							
基礎設置 (責任者、作業員)																
	設置箇所に基礎を設置する。	重量物のため、運搬時注意	運搬時に基礎を足元に落とす。	△	△	△△	3		無理な体勢で運ばない。台車を使う。							
	ハンマードリルを使用しコンクリート基礎にアンカー孔を削孔する。	手元注意	ハンマードリルで手を怪我する。	×	△	×△	4		無理な体勢で作業しない。 手袋を着用する。							
		粉塵注意	削孔時粉塵が目に入る。	×	△	×△	4		防護メガネ、粉塵マスク、手袋を着用する。							
	石頭ハンマーでアンカーボルトを打ち込む。	手元注意	石頭ハンマーで誤って手を打つ	×	△	×△	4		無理な体勢で作業しない。							
	インパクトドライバーを使用し、基礎を固定金具で固定する。	締め忘れ注意														
スノーボール設置 (責任者、作業員)																
	シャベル等を使用し、セメント、砂と水を混ぜ合わせモルタルを作る。	混合時粉塵注意	混合時にセメントが目に入る。	×	△	×△	3		防護メガネ、粉塵マスク、手袋を着用する。							
			混合時に道路や、一般車に飛散する。	×	△	×△	3		周囲を確認し、ブルーシート等で養生する。							
	基礎にスノーボールを設置し、モルタルを充填する。	スノーボールが傾かないよう、水平機を使用し、垂直に設置する。 スノーボールの根本に水がたまらないよう中央から端に向かって勾配をつける。 基礎が転倒しないよう木材を使用し、固定する。	モルタルが道路や、一般車に飛散する。	×	△	×△	3		周囲を確認し、ブルーシート等で養生する。							
後片付け (責任者、作業員)																
										清掃	破片、工具等が残っている					